



～世界糖尿病デー 2024～
第182回糖尿病教育学習研究会（トップセミナー）
第221回IIDES糖尿病研究会
第156回CDE兵庫県連合会研究会
—合同研究会のご案内—



日 時 : 2024年11月23日(土) 14:00~17:15
場 所 : 神戸商工貿易センター 26階 第1会議室
神戸市中央区浜辺通 5-1-14 TEL:078-251-5489

プログラム :

14:00~14:15 田辺三菱製薬株式会社 —情報提供—

14:15~15:45 (座長:鹿住 敏先生 はくほう会加古川病院 糖尿病外来、武庫川女子大学 栄養科学研究所、
NPO 法人 国際糖尿病教育学習研究所 理事)

(14:15~14:45)

講演1. 『糖尿病透析予防チームによる療養指導の重要性
～肥満・血清尿酸値の影響について～』

新須磨病院 栄養課 課長 竹本 昌代 先生

(14:45~15:45)

講演2. 『特殊な状況・病態時の糖尿病治療支援』

兵庫県立淡路医療センター 糖尿病・内分泌内科 芳野 啓 先生

15:45~17:15 (座長:芳野 原先生 医療法人社団 慈恵会 新須磨病院 常任学術顧問 糖尿病センター長、
東邦大学名誉教授、NPO 法人 国際糖尿病教育学習研究所 理事長)

講演3. 『医療機関から地域に飛び出す、これからの糖尿病対策を考える
～ 地元の高校生との交流から見えてきたこと～』

神戸市立医療センター西市民病院 糖尿病・内分泌内科 部長 中村 武寛 先生

注) ① 会場とオンライン同時配信により、**ハイブリッド講演会**になります。

② 会場参加定員: **先着43名** (キャンセルがでた際には、外れた方順に参加可能のお知らせをいたします。)

③ 会場参加者は必ずマスク着用をお願いします。また、発熱がある方は入場をお断りしますので、体温を測定してからお越しください。

(1) 参加費: 2,000円

(2) 申込方法: 事務局へご氏名、ご所属、職種、ご連絡先、オンライン参加か会場参加か(オンラインの場合、必要な単位申請先)を明記の上、E-mail(パソコンからの発信可能アドレスをお知らせください)、またはFAXにてお願いいたします。

注) CDEJ更新のための認定単位が必要な方はWeb講習は対象外です。また、日病薬薬学認定制度の認定単位が必要な方は、本オンラインでは単位対応できません。会場参加でお願いいたします。

(3) 連絡事務局: 特定非営利活動法人 国際糖尿病教育学習研究所(NPO - IIDES)

〒651-1112 神戸市北区鈴蘭台東町7-10-16

TEL:078-591-7515 FAX:078-591-7512

E-mail: yoshino@npo-iides.or.jp

※ 日医生涯教育講座認定 基礎講座: CC10・0.5単位、講演1: CC76・1単位、講演2: CC11・1.5単位 申請中

※ 日本糖尿病療養指導士 認定更新のための研修会(第2群) 1単位 (オンライン参加不可) 申請中

※ 日病薬薬学認定制度 III-2・2単位 (オンライン参加不可) 申請中

※ 糖尿病療養指導士兵庫県連合会 認定更新のための研修会 2単位

共催: 特定非営利活動法人 国際糖尿病教育学習研究所
糖尿病療養指導士兵庫県連合会
一般社団法人 兵庫県病院薬剤師会
田辺三菱製薬株式会社

オンライン参加の方へ

1. オンライン参加をお申込みされた方へは、参加費振込先を申込メールアドレスにお送りいたします。
(オンライン参加費振込締切日は11月21日まで。振込手数料は各自でご負担願います。入金された参加費については、返金対応いたしませんのでご了承ください。)
 2. 入金確認後、事前登録URLを申込メールアドレスにお送りいたします。
 3. 当日オンライントラブル連絡先：田辺三菱製薬株式会社 窓口 上井 (TEL: 080-5776-2108)
- ※ご連絡頂く「個人情報」は本会運営の目的のみに使用させていただきます。

【認定単位の必要な方へ】(単位取得までの流れ)

- 受講確認のため、受講中に3回キーワードを発表します。必ずメモしてください。
キーワードが全部合致しない場合は、受講したものと認めませんのでご注意ください。

1. 糖尿病療養指導士兵庫県連合会認定に関して

受講後、当日中に3回のキーワード、ご氏名、認定番号、送付先住所を事務局メールアドレスにお送りください。
キーワードが合致した方のみ、参加証(単位申請用)を送付いたします。

2. 日医生涯教育講座認定に関して

受講後、当日中に3回のキーワード、ご氏名、所属医師会、医籍番号、送付先住所を事務局メールアドレスにお送りください。キーワードが合致した方のみ、受講記録表を送付いたします。

一抄録

講演1. 『糖尿病透析予防チームによる療養指導の重要性 ～肥満・血清尿酸値の影響について～』

竹本 昌代 先生 新須磨病院 栄養課 課長

糖尿病の合併症による腎症進展を予防し透析導入を阻止することを目的に当院では2012年5月より糖尿病透析予防チームを立ち上げ医師・看護師・管理栄養士による糖尿病透析予防指導を開始、現在も継続しています。

活動の一環として『糖尿病透析予防指導介入群と未介入群の腎症ステージの変化の比較』をおこない糖尿病透析予防指導介入群では腎症増悪遅延に力を発揮できる結果が得られました。また、『BMI別に見た糖尿病透析予防指導の効果』および『糖尿病性腎症ステージの進展と血清尿酸値の関係について』等を調査することで得られた糖尿病性腎症に対する肥満や血清尿酸値の影響についても併せて報告させていただきます。

講演2. 『特殊な状況・病態時の糖尿病治療支援』

芳野 啓 先生 兵庫県立淡路医療センター 糖尿病・内分泌内科

特殊な状況・病態時の糖尿病治療支援では、個別な対応が必要となる。シックデイ時は血糖値の頻繁なモニタリングとインスリンを含めた適切な薬量調整を要する。周術期は血糖管理を強化し、術前後の低血糖・高血糖を防ぐ。低栄養時には栄養状態を改善しつつ、血糖を適切な値に維持する。旅行時には時差や食事の変化を考慮し、治療計画を調整する。災害時には医薬品の確保と持続的な治療の確保が重要で、患者への教育と事前の準備が求められる。

本講義では、特殊な状況・病態時の糖尿病治療支援について説明する。

講演3. 『医療機関から地域に飛び出す、これからの糖尿病対策を考える ～地元の高校生との交流から見えてきたこと～』

中村 武寛 先生 神戸市立医療センター西市民病院 糖尿病・内分泌内科 部長

糖尿病への対策は、病院や診療所など医療機関の中だけで十分でしょうか。

健診を受けていないので糖尿病に気が付くことが無く過ごしていた、健診で異常を指摘されたが放置していた、定期通院していたがコロナ禍で受診中断したままだった、など糖尿病合併症が高度に進展してしまったかたの病歴によく出てくるフレーズです。医療機関の中で待っているだけでは、糖尿病合併症から「幸せ」を守ることはできません。では、どうすればいいのでしょうか。当院の近くの高校で糖尿病の授業をしました。その中で見えてきたことがあります。

「今だからこそ」できることを皆さんと一緒に考えます。

◇会場案内図(神戸商工貿易センター)

- 三ノ宮駅(JR)三宮駅(阪急・阪神・市営地下鉄山手線)
下車徒歩10分
- 三宮花畑前駅(市営地下鉄海岸線)下車徒歩5分
- 三宮駅(ポートライナー)貿易センター駅下車すぐ

